

- 8:1 シュアハ人ビルダデが答えて言った。
8:2 いつまであなたは
このようなことを語るのか。
あなたが口にすることばは
激しい風のような。
8:3 神は公義を曲げるだろうか。
全能者は義を曲げるだろうか。
8:4 もし、あなたの子らが神に罪を犯し、
神が彼らをそのそむきの罪の手中に
送り込まれたのなら、
8:5 もし、あなたが、熱心に神に求め、
全能者にあわれみを請うなら、
8:6 もし、あなたが純粋で正しいなら、
まことに神は今すぐ
あなたのために起き上がり、
あなたの義の住まいを回復される。
8:7 あなたの始めは小さくても、
その終わりは、はなはだ大きくなる。
8:8 さあ、先代の人に尋ねよ。
その先祖たちの探求したことを確かめよ。
8:9 私たちは、きのう生まれた者で、
何も知らず、
私たちの地上にある日は影だからである。
8:10 彼らはあなたに教え、
あなたに語りかけ、
その心からことばを出さないだろうか。

ビルダデもヨブに忠告しますが、それは生きた神様との交わりによるものではなく、過去の人に根拠を置いたものでした。伝統や習慣と、それらの中から彼自身の主張に合うものを取り上げたに過ぎないのです。

クリスチャーンの伝統であるなら概ね主の御心にか

なったものでしょう。しかし、根拠が違うならそれは、過去や「先代の人」を神としていることになります。その結果ビルダデはまたも因果応報的な考えを押し付けて、ヨブに実りのない忠告をすることになります。（後に主の怒りの対象となり、また真実ではなかったと言われています。）

人や伝統ではなく主のことばによって導かれましょう。すなわち聖書によって、生きた主と交わりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

